



**出口** 野球でもサッカーでも同じですが、ゴマすりがすごく上手な選手でも、試合に出たら三振ばかりでは勝てません。

どのような仕事でも、人が思うほどゴマすりの能力は必要ないと思っています。試合に出たら3回に1回ぐらいちゃんとヒットが打てる人は、みんなが認めますから、あまり気にしないでいいと思います。

**市長** 逆にゴマすりに一生懸命になろうとしている人に対して、「い

いや、もっと本来の仕事の力を蓄えて、しっかりと仕事をしなさい」というメッセージでもあるのですね。

**出口** 今やっている仕事をきちんとしないで、ゴマをすっていても、一生試合に出られないかもしれません。だったらバッティング練習や投球練習をした方が試合に出るチャンスは多いと思います。

**市長** ふるさとの経済のことに話を移します。東京の経済と地方の経済、なかんずく東海地域、三重県あるいは津市について、どのようにお感



## 人口の規模や県都のステータス 発展の必要条件は満たしている

じですか。

**出口** 10年ほど前、まだ会社を始める前ですが、地域おこしの研究を1年間したことがあります。そのときに議論していたことは、まず一つは人口です。中核都市と言う人もいますが、20～30万人ぐらいいないといろいろな集積効果が働きませんので、人口が少ないとなかなかしんどい。これは全世界共通です。

もちろん、すごく豊かで農産物などがたくさんできるところは、小さくても自立していけるでしょうし例外もあります。しかし何もなかったところにまちをつくって、生きていくためには、ある程度の人口がなければ、コストが高くなります。津市は人口30万人弱ぐらいで、面積もすごく広いです。

**市長** 約711km<sup>2</sup>です。

**出口** もう一つは、置かれている状況です。

例えば、名古屋市というすごく元気の良い大都市があって、平成28年はちょうど伊勢志摩サミットがあります。みんなが行きたくなる伊勢神宮や伊勢志摩、熊野古道など、人の流れのち

ょうど真ん中にあるのですから、人口の規模や県庁所在地としてのステータス、さらに大

きく人が流れるルートにあるということは、発展の必要条件は十分に満たしている気がします。

**市長** ありがとうございます。

**出口** あとは十分条件の話になりますが、やはり住んでいて「楽しい、面白い、わくわくする、良いことをやっている」といった要素は非常に大事な部分だと思います。例えばどこかに移住しようと考えたときに、同じような条件だったとしたら、人は「楽しそう、わくわくする、面白そう」な場所を選ぶ気がします。

**市長** なるほど。

**出口** 市役所の皆さんが、どのようなまちにしようかと一所懸命考えて、そのような場をつくっていくことがとても大事だと思います。

**市長** 「楽しそう、わくわくする」そういったことをみんなで考えていくのが地方創生につながるわけですね。美杉地域ではJR名松線が平成28年3月に復旧し、もう一度つながります。こういったつながりを大切に、地域経済の活力をしっかりと創り出していかねばならないと思っています。

それから、やはり働く場所が必要です。津市